

令和8年度 予算のお知らせ

健康の保持・増進のための 効果的な保健事業を推進します

ジャヴァグループ健康保険組合の令和8年度の予算案が、去る2月18日開催の第67回組合会において可決承認されましたので、その概要をお知らせします。

当健保組合の令和8年度の予算総額は3億7,053万9千円となり、経常収支差引額は7,053万5千円の赤字を計上しました。

健保財政の収入の柱となる保険料収入は、社員数の減少や賞与の減額などにより減少傾向にあります。また、支出面では、保険給付費と高齢者医療への拠出金は減少を見込んでいますが、健保財政は今後も厳しい状況が続くと考えられます。

高齢化や医療の高度化、高額薬剤の普及により、今後は医療費が増加すると考えられます。一方で、少子化の影響により社会保障の負担は現役世代に偏っており、制度の持続可能性が課題となっています。こうした状況を受け、さまざまな医療制度改革が議論されています。主な改革項目は、高額療養費制度の自己負担限度額の引き上げや、OTC類似薬を処方された場合の患者負担の導入などです。しかし、衆議院の解散、総選挙の影響で改革法案等の成立が不透

明となり、本格的な推進には時間を要する見通しです。

本年度からは、子ども・子育て支援金制度が開始されます。この制度は、児童手当の拡充や妊婦・育児支援などの財源を全世代で負担し合い、子育て世帯を支える仕組みです。支援金は保険料として位置付けられ、健康保険組合が国に代わって徴収・納付する役割を担います。ただし、この支援金は健康保険組合の保険給付や保健事業には充当されません。ご理解をお願いいたします。

当健保組合では、本年度も加入者の皆さまの健康保持・増進につながる効果的・効率的な保健事業を実施してまいります。皆さまにおかれましては、当健保組合の保健事業を積極的にご活用いただき、健康管理に努めていただくとともに、ジェネリック医薬品の利用やセルフメディケーションの実践などを通して、医療費適正化へのご協力をお願い申し上げます。

令和8年度 収入支出予算概要

健康保険分 収入と支出の割合

毎月の給与と賞与から納めていただく健保組合の主要財源です。「基本保険料」は皆さまの医療費などに使われ、「特定保険料」は高齢者の医療費を支えるために使われます。



収入 (千円)			
経常	保険料収入	255,637	
	利子収入	2,055	
	その他の収入	2,367	
経常外	調整保険料収入	3,905	
	前年度繰越金	20,000	
	別途積立金繰入	100,000	
	その他の収入	1,005	
合計		384,969	
経常収入合計		260,059	

支出 (千円)			
経常	事務費	42,638	
	保険給付費	175,431	
	納付金	93,553	
経常外	保健事業費	18,308	
	その他の支出	664	
	財政調整事業拠出金	3,905	
	その他の支出	12,435	
予備費 (残金)		38,035	
合計		384,969	
経常支出合計		330,594	

経常収入合計 260,059 千円 — 経常支出合計 330,594 千円 = 経常収支差引額 ▲ 70,535 千円

介護保険分

40～64歳の被保険者が負担している介護保険の保険料です。



【新設】子ども・子育て支援金分



予算のポイント

●保険料率は据え置き、子ども・子育て支援金の拠出が開始

一般保険料率、介護保険料率ともに据え置きます。しかし、今後は保険給付費、高齢者医療への納付金の増加が見込まれることから、依然として厳しい状況となっています。また、今年度より子ども・子育て支援金の拠出が開始します。

